



NEWS RELEASE

株式会社 すららネット
2026 年 7 月 27 日

富山県舟橋村で「すららドリル」が 2026 年 6 月より導入 舟橋中学校の学校 1 校、中学 1 年～3 年生 91 人が利用開始

AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材の開発と提供を行う株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役：湯野川孝彦）が提供する「すららドリル」が、2026 年 6 月から富山県中新川郡舟橋村の公立学校 1 校で導入され、91 人の児童生徒が利用を開始しました。

すららドリル



舟橋村は、「ふるさとを愛し 心豊かで たくましく 学び合う 舟橋の子の育成」を教育目標に掲げ、子どもたちが自ら学び、健やかに成長できる教育環境の実現に取り組んでいます。GIGA スクール構想のもと、ICT を効果的に活用することで、基礎・基本の定着とともに一人ひとりの個性を伸ばす「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を進めています。

「すららドリル」は、AI による最適な問題提示とアニメーションによるわかりやすいレクチャー機能を組み合わせ、子どもたち一人ひとりの理解度や学習進度に応じた“個別最適な学び”を可能にする教材です。単にドリル演習を繰り返すのではなく、「わかった」「できた」と感じる成功体験を積み重ねることで、自己肯定感や学びへの意欲を自然と育む設計がなされています。

また、「すららドリル」は、課題配信・採点・進捗管理など教員の日常業務の負担を軽減しながら、学習データを活用したきめ細かな指導を可能にします。これにより、教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保し、授業の質のさらなる向上にも寄与します。

今回舟橋村においては、「すららドリル」の学年にとらわれず個々の理解度に応じて学習を進められる「無学年方式」や、自動採点・分析機能によって教員が子どもたちの学習状況をリアルタイムで把握し、よりきめ細かな指導に注力できる点が評価され導入に至りました。

すららネットは今後も、自治体の規模や地域の格差に関わらず、すべての児童生徒に「取りこぼしのない教育機会をすららドリル」の提供を通じて保障すべく、公立小中学校での個別最適な学びと教員の業務軽減を力強くサポートしてまいります。

■AI×アダプティブラーニング教材「すららドリル」

「すららドリル」は、公立小中学校向けの AI ドリル教材で、児童生徒一人ひとりの理解度に応じたアダプティブな学習を提供します。AI による「つまずき診断」や「出題難易度コントロール」により、国語・算数／数学・英語・理科・社会の 5 教科を、学年を越えて柔軟に学ぶことができます。教材はドリル、テスト、対話式レクチャーの 3 機能で構成され、「演習→確認→復習」のサイクルで無理なく学力の定着を図ります。また、テストの自動作問・採点、自動復習登録機能により、教員の負担も軽減します。

「すららドリル」は、多様な学習スタイルに応じた指導が可能で、児童生徒の主体的な学びと教員の指導の質向上を同時にサポートします。

■株式会社すららネット

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念に掲げ、AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」「すららドリル」などを開発・提供しています。現在、国内の 3,100 校以上の学校や学習塾で導入され、約 26 万人の児童生徒が利用しています。全国の公立学校や有名私立学校、大手塾での活用が広がる一方、不登校や発達障がい、経済的困難な状況の子どもたちにも学習機会を届けることで、教育課題の解決に取り組んでいます。2017 年には、代表的な EdTech スタートアップ企業として東証マザーズ市場（現東証グロース市場）に上場しました。

- ・コーポレートサイト <https://surala.co.jp/>
- ・サービスサイト <https://surala.jp/>